

子どもの不慮の事故を予防しよう！

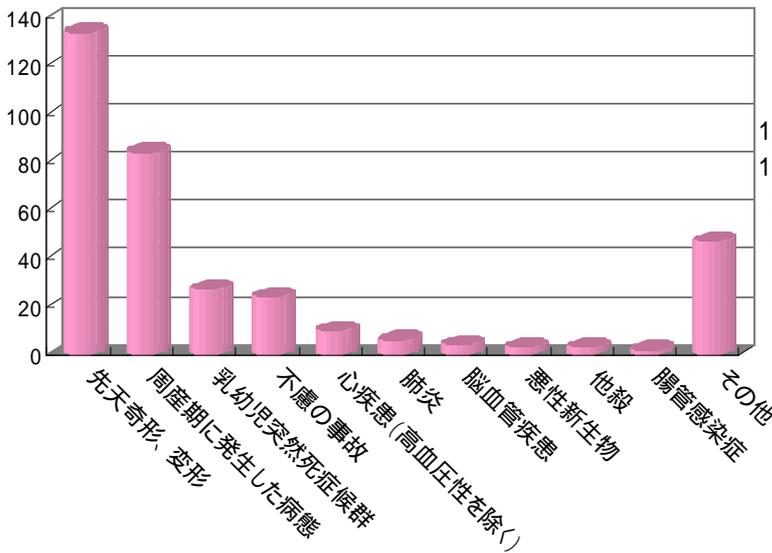
全国では毎年約 700 人の子ども達(0-14歳)が不慮の事故で亡くなっています。

平成 16 年人口動態統計によると全国 783 人、岩手県では 17 人(内 0-4 歳は 9 人)の子ども達が亡くなっています。

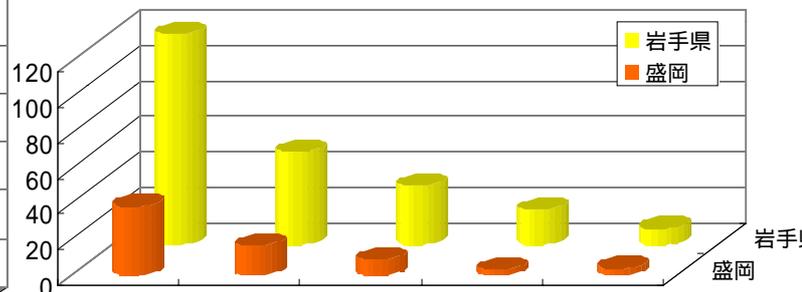
子どもの事故の現状

我が国の、小児の死亡原因第 1 位を約 40 年間維持しているのは、「不慮の事故」です。1 歳～4 歳の事故による死亡割合は 22.5%です。
不慮の事故は保護者をはじめ、大人の私たちの努力で予防が可能な死亡原因です。

岩手県の乳児死亡順位 (H7-15)



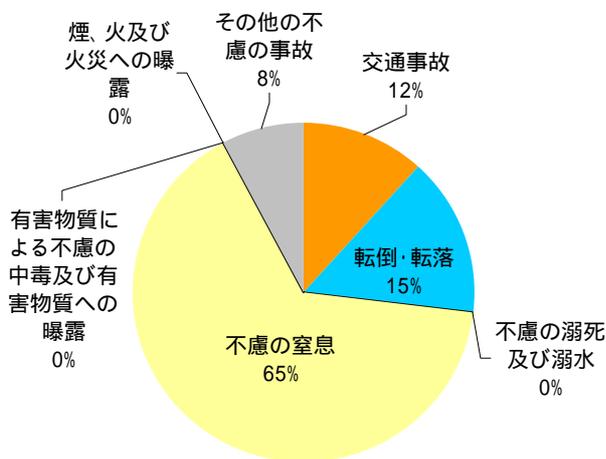
0-14歳主要死因順位 (H7-15)



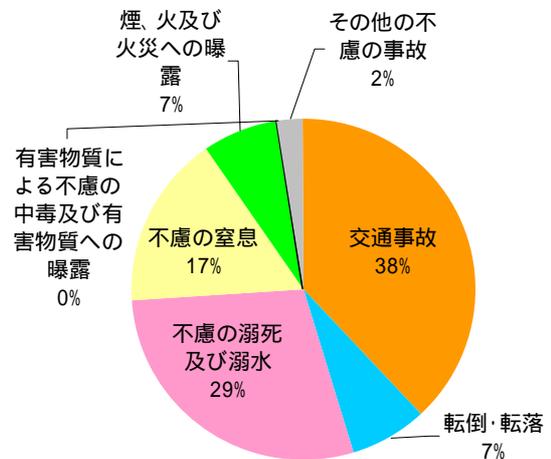
年齢により異なる事故の種類

岩手県では平成 7 年～16 年の 10 年間で 68 人の 0-4 歳児が不慮の事故で亡くなっています。

乳児の不慮の事故死亡内訳 (H7-16) 岩手県 N=26



1～4歳児の不慮の事故死亡内訳 (H7-16) 岩手県 N=42



事故防止のための注意点

パパ・ママ・・・乳児期は誤飲・窒息事故に注意しましょう！

目を離した一瞬におきる誤飲事故・・・危険がいっぱい家の中！

乳幼児は手にしたものを何でも口にしてしまいます。日常生活をちょっと子どもの目線で眺めて、危険なものを整理してみましょう！！



誤飲につながる危険なもの

たばこ関係のもの・・・たばこ本体や吸殻・たばこ成分が溶け出した液はたばこより吸収が早く危険です。

飲める液体類・・・シャンプー類・漂白剤・化粧品・ワックス剤など

直径が 39mm、長さが 1mm 以内のもの・・・針・画びょう・錠剤・カプセル・金属片・電池・硬貨など

窒息事故は非常に危険

気道が完全に塞がれた状態が 5 分間以上続くと脳障害や命を落とす可能性が高いです。窒息で死亡するのは 1 歳未満ですが、2-3 歳までは飲み込む働きが不完全なので注意が必要です。 **のどにつまらせないために、乾燥した豆類は 3 歳までは食べさせないように・・・**

窒息につながる危険なもの・・・豆、ナッツ類・皮ごとのブドウ・こんにゃくゼリー・風船・ブロック・ウインナー・もち・たくあん・あめなど

鼻や口をふさぐもの・・・ビニール袋・柔らかい枕や布団・ガーゼハンカチなど

首をしめつけるもの・・・カーテンの紐・ベビーベッドの柵・リボンなど

お父さん・お母さん・・・幼児期・学童は溺死及び溺水・交通事故に注意しましょう！！

乳幼児は少しの水でもおぼれます

乳幼児の溺死が一番多いのは浴室です。また、洗濯機、水槽、洗面器、バケツ等の少量の水でも命を落とした事例もありますので、水抜き、近寄せない等の環境整備に十分な注意が必要です。

おぼれやすい危険エリア・・・浴室・洗面所・洗濯機・水槽・用水路・など

レジャーも危険がいっぱい・・・海・川・湖・プールなど

交通事故防止策の 1 つはルールを守らせ、親（大人）がお手本になることが大切です。歩行中や横断歩道を待っている時は、交通ルールを学習する良い機会です。公園などで一緒に遊ぶ時には、遊具の使い方や危険な場所の注意をしましょう。

チャイルドシートを正しく装着しましょう！

乳児期に多いだっこ乗車の事故：乗車中に赤ちゃんを支えることができるのは時速 5-7km までです。

危険です！ちょっとそこまでだから・・・そのまま乗車。

大人用のシートベルトを使用できるのは、身長 135cm 以上です。それまではチャイルドシートを習慣づけましょう。

